

1 単元名 Lesson 8 The First Mission to America (Crown English Reading New Edition)

2 単元の目標

- 読む・書く場面において言語活動に積極的に取り組んでいる。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 本文で扱った語彙や文法事項を用いて、自分の考えを正しく書いたり、要約したりすることができる。  
(外国語表現の能力)
- 筆者の主張の要点を把握することができる。 (外国語理解の能力)
- 本文で扱った表現やその運用についての知識を身につけている。 (言語や文化についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

本課は、福沢諭吉の自伝の一節の英訳であり、江戸時代末期に、米国派遣使節の一員として渡米した際の話である。この単元をとおして、過去に人々が経験した異文化理解・国際理解について知ることができる。

(2) 生徒の実態

**Can Do List** による4技能に対する意識調査(自信について0~10で回答)(平成26年\*月\*日 第3学年\*人)

	<b>読む領域</b>	<b>聞く領域</b>	<b>書く領域</b>	<b>話す領域</b>
<b>平均値</b>	<b>*</b>	<b>*</b>	<b>*</b>	<b>*</b>

読むことに対する苦手意識は低いですが、実態調査から、今までの訳読中心の授業では、読解力が身につけていないことがわかった。書くことに対しては、苦手意識を持つ生徒が多く、既習の表現を使って自分の考えを書くことに課題があることがわかった。

(3) 指導観

ア Q&A による読解活動について

内容に関する情報を見つけたり要旨を把握する手立てとして、英文和訳では不十分であり、内容に対して英問英答や英語で直接要約を行うことが有効であるとリーディングの専門家である卯城(2009)は指摘している。そこで「読解力」を養うため、英語で直接本文の内容に対するQ&Aを実践する。内容に対するQ&Aでは、主に5W1H(who, what, when, where, why, how)を使った質問を用意して、ワークシートとして配布する。質問を作成する上で、keywords writingを通して定着させたい表現がある場合には、その表現を含む英文を含むQ&Aが含まれるようにする。教科書の本文のセクション毎に、2つから3つの質問を用意する。本文に対するオーラルイントロダクションを聞いた後に、本文を黙読しながら、質問の答えを探してワークシートに英文で答える。これらにより、日本語訳することなく内容に関する情報を見つけたり、要旨を把握する力を育てることができると考える。

イ keywords writing と summary writing について

読解で取り組んだQ&Aの事後活動として、keywords writing と summary writing を実践する。keywords writing では、Q&Aに含めた定着させたい表現を用いながら、生徒自身に関わるテーマについて数行程度の英文を書く活動を行う。興味を持って取り組めるように、テーマについては、生徒(高校3年生)にとって身近なテーマを設定する。各生徒がそのテーマについて、授業で取り上げられた重要語彙や文構造を必ず用いて自由に書く。この実践は、文章中の表現を活用しながら自らの考えを書く力を養うことに有効であると考えられる。

summary writing では、Q&A活動の英文を活用する。Q&Aを行った後に、生徒は本文全体を再読しながら、本文の要約を簡潔に英語で書くことにより、読解した内容を英語で簡潔に要約する力を養うことをねらう。

4 指導と評価計画 ( 6 時間扱い)

時間	学習内容	関	表	理	知	評価規準 (評価方法)
1	導入, 語彙と文法事項	○				・本文の内容を大まかに把握することができる。(観察・課題)
2 3(本時) 4	Q&Aによる内容理解 keywords writing		○	○		・筆者の主張の要点を把握することができる。 ・本文で扱った語彙や文法事項を用いて正しく文を書くことができる。(ワークシート)
5	Q&Aによる内容理解 語彙と文法事項		○		○	・筆者の主張の要点を把握することができる。 ・本文で取り扱った語彙や文法事項の意味がわかる。(ワークシート)
6	Exercises, Summary writing			○		・本文の内容の要約をかくことができる。(ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標



○内容に関する情報を見つけたり, 要旨を把握することができる。 (外国語理解の能力)


○make AB/have AB (使役) を使って自らの考えを書くことができる。 (外国語表現の能力)

(2) 準備するもの

- ・ワークシート, パソコン, スクリーン

(3) 展開

	学習活動及び内容	時間	指導上の留意点 (◎ 評価) ☆A となる状況, ▲C の生徒への支援
導 入	Warm up 速読演習 ・500 字程度の英文を読んで内容と要旨に対する, 英語による 4 択問題 (全部で 5 問) に取り組む。 ・解答を確認する。	10 分	・本文すべてを読むのではなく, 設問に対する必要な情報を拾い読みするよう促す。
展 開	Review ・前時の keywords writing の課題英作文 (should have 過去分詞) で生徒が書いた英文を読んで, 学習した表現をクラス全体で確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">L8 Mission to America --- p 121.</p> <p style="text-align: center;"><b>I should have 完了 (すべきだった・後悔)</b></p> <p style="text-align: center;"><b>I should have studied English and been to homestay because I might be able to speak English better now.</b></p> <p style="text-align: center;"><b>My English won't improve now...</b></p> </div> <p>Introduction to the new material</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Oral Introduction 教員の英語を聞いて概要を捉える</li> <li>・本文に関する questions を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">L8 Mission to America --- p 121</p> <p style="text-align: center;">Q6. When Fukuzawa was taken to the modern hotel, what his hosts do <b>on the carpet?</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">Q7. When there was a dance party, did his host want Fukuzawa to attend it?</p> </div>	5 分  3 分 5 分	・前時の課題英作文をまとめたワークシートとスライドを用意する。 ・前時の復習として, 表現の確認と前時のどのような場面で使われていたかを, 全体に質問しながら確認させる。 ・表現に間違いがある英文については, どのように訂正したらよいかを全体に質問して確認させる。  ・本文の内容に関係した写真を提示し, Oral Introduction を通して本文の大意を捉えるように伝える。 ・Q&A 活動を行う前に, questions を ppt で提示し, Oral Introduction を聞いて, 初見の英文で, しかも逐語訳することなく, おおまかな内容を予想しながら Q&A 活動に取り組めるようにする。

	<p>Presentation of the new material</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を黙読しながら Q&amp;A に取り組む。</li> <li>・Q&amp;A の答えを確認する。</li> <li>・本文の音声を聞く。</li> <li>・(使役) make AB/have AB の意味を再確認する。</li> </ul> <p>Keywords writing</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ have AB を使って課題英作に取り組む。</li> </ul> <div data-bbox="252 539 766 851" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">LB Mission to America --- p 122.</p> <p style="text-align: center;"><b>What did you <u>have your family do</u> for you during your high school days?</b></p> <p style="text-align: center;"><b>I had my family <u>cook</u> late-night snack</b> (have <b>A</b> <b>B</b> ) <b>so that I was able to study late at night.</b></p> <div style="text-align: center;">  <p><b>Fried vegetables!</b></p> </div> </div>	<p>12分</p> <p>4分</p> <p>6分</p> <p>7分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Q&amp;A に新出語句があれば、日本語も交えながら、答えの確認をする。</li> <li>◎<b>内容に関する情報を見つけたり、要旨を把握することができる。(ワークシート)</b></li> <li>☆質問にあわせて、答えとなる英文を書き換えさせる。</li> <li>▲キーワードを提示することにより、質問に関係する英文を見つけられるように支援する。</li> <li>・身近に感じられるような例文を提示して、表現の意味と形式の理解を促す。</li> <li>・身近なテーマを設定して書く意欲を高めさせる。机間指導を通して書く支援を行う。</li> <li>◎<b>make AB/have AB (使役) を使って自らの考えを書くことができる。(ワークシート)</b></li> <li>☆テーマに対する説明を複数書くことができる。</li> <li>▲誰に何をしてもらったのか、辞書を利用しながら英語にして AB に入れるよう個別に支援する。</li> </ul>
<p>まとめ</p>	<p>Consolidation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容を確認する。</li> </ul>	<p>3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が終わらない生徒には、空き時間を利用するなどして、課題への取り組みを促す</li> <li>・次時で、課題を共有することを伝える。</li> </ul>